

「廃棄物処理施設の基幹改良工事」

～施設の長寿命化と CO₂ 削減に貢献～

基幹改良工事では、老朽化した廃棄物処理施設の安定稼働を目的として、主要設備・機器の更新や改良による延命化を図るとともに、CO₂排出量を削減します。施設を適切な管理のもと長期間にわたり使用可能とすることで、廃棄物処理施設の整備に係わるトータルコストの縮減と平準化に寄与し、安定した安心・安全な廃棄物処理の実現に貢献します。

今回の事業は省エネ機器の導入など、施設に最適な改良工事の提案による CO₂排出量の削減により、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金ならびに循環型社会形成推進交付金を活用します。また工事は停止中の系列で順次実施することで通常操業に影響なく進めていきます。

今後もこれまで培ってきた計画から設計・建設・運営・維持管理までの一連の基盤技術に最新の技術を導入し、新設工事のみならず高いニーズの基幹改良工事へ最適な提案で応えていくとともに、廃棄物処理関連事業を通じて SDGs 実現に向けて取り組んでいきます。

1. 「中津川市環境センターガス化溶融施設基幹的設備改良工事」 の概要

①工 事 名 称：中津川市環境センター
ガス化溶融施設基幹的設備改良工事

②施 設 竣 工：2004年3月（約18年経過）

③工 期：2021年6月から2025年2月まで

④焼 却 方 式：流動床式ガス化溶融炉

⑤施 設 規 模：98 t/日（49 t/24 h × 2 炉）

⑥本工事の特長：

- ・稼働後約18年経過した同施設の機能回復をさせると同時に、工事後10年間以上の施設延命化を図ります。
- ・プレミアム効率モータ採用，インバータ化等により省電力化を図ります。
- ・上述設備改善での省電力化により CO₂排出量を5 % 以上削減することで，環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用します。



2. 「西条市道前クリーンセンター基幹的設備改良工事」 の概要

①工 事 名 称：西条市道前クリーンセンター
基幹的設備改良工事

②施 設 竣 工：1991年10月（約30年経過）

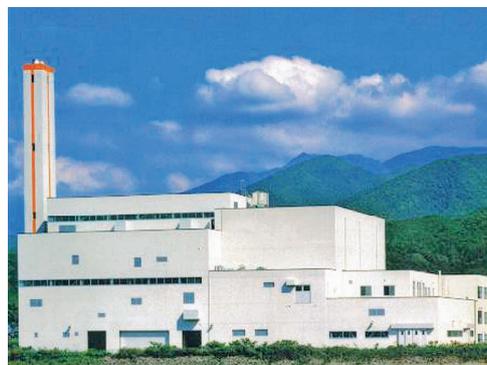
③工 期：2021年6月から2025年3月まで

④焼 却 方 式：流動床式焼却炉

⑤施 設 規 模：焼却施設 200t/日（100 t/24 h × 2 炉）
粗大ごみ処理施設 30 t/5 h

⑥本工事の特長：

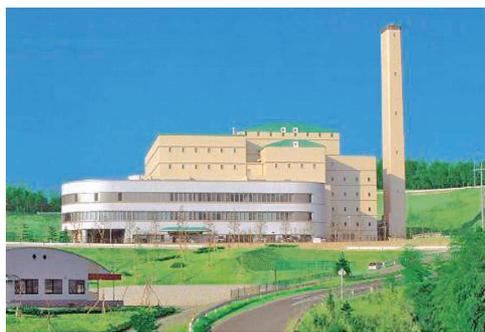
- ・稼働後約30年経過した同施設の機能回復をさせると同時に，工事後10年間以上の施設延命化を図ります。
- ・最新設備の導入，プレミアム効率モータ採用，インバータ化により省電力化を図ります。
- ・上述設備改善での省電力化により CO₂排出量を3 % 以上削減することで，環境省の循環型社会形成推進交付金を活用します。



3. 「吉備路クリーンセンター基幹的設備改良工事」の概要

- ①工 事 名 称：吉備路クリーンセンター
基幹的設備改良工事
- ②施 設 竣 工：1997年3月（約25年経過）
- ③工 期：2021年6月から2024年2月まで
- ④施 設 規 模：焼却施設 180 t/日（90 t/24 h × 2 炉）
不燃ごみ処理施設 28 t/5 h
- ⑤焼 却 方 式：流動式焼却炉
- ⑥本工事の特長：

- ・稼働後約25年経過した同施設の機能回復をさせると同時に、工事後15年間以上の施設延命化を図ります。
- ・給じん装置システムの改造により更なる安定燃焼を実現するとともに、プレミアム効率モータ採用、インバータ化等により省電力化を図ります。
- ・上述設備改善での省電力化により CO₂ 排出量を5 % 以上削減することで、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用します。



4. 「妙高クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事」の概要

- ①工 事 名 称：妙高クリーンセンター
基幹的設備改良工事
- ②施 設 竣 工：1996年12月（約25年経過）
- ③工 期：2021年6月から2024年2月まで
- ④焼 却 方 式：流動床式焼却炉
- ⑤施 設 規 模：70 t/日（35 t/16 h × 2 炉）
- ⑥本工事の特長：

- ・稼働後約25年経過した同施設の機能回復をさせると同時に、工事後15年間以上の施設延命化を図ります。
- ・給じんシステム、焼却炉の改造により更なる安定燃焼を実現するとともに、プレミアム効率モータ採用、インバータ化等により省電力化を図ります。
- ・上述設備改善での省電力化により CO₂ 排出量を3 % 以上削減することで、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用します。

